授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
病態学Ⅲ（呼吸器系）	1年次	後期	1	15	有

科目責任者	
授業概要	それぞれの器官に生じる疾患の原因や病気の成り立ちなどの特徴を肉眼・組織の写真と病態を表現したイラストを用いて学ぶ。
目標	1．呼吸器系の代表的な疾患について、発生の原因・症状・検査・治療について理解できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	1.呼吸器の構造と機能 ①換気 ②呼吸調整と神経系 ③肺胞におけるガス交換 ④換気血流比 2.呼吸困難と呼吸不全	担当講師	講義
2	3.呼吸器系の防御機構の障害 ①喀痰と咳嗽 4.呼吸器感染症 ①上気道炎 ②気管支炎 ③肺炎	担当講師	講義
3	5．肺膿瘍 6．肺結核 7．胸膜炎	担当講師	講義
4	8．換気の障害 1）閉塞性換気障害 ①閉塞性換気障害の病態 ②気管支喘息の原因、症状、検査、治療 ③慢性閉塞性肺疾患の原因、症状、検査、治療	担当講師	講義
5	2）拘束性換気障害 ①拘束性換気障害の病態 ②間質性肺炎の原因、症状、検査、治療	担当講師	講義
6	9．肺の腫瘍による障害	担当講師	講義
7	10．肺循環の障害 ①肺梗塞 ②肺塞栓症 11．呼吸調節の障害 ①過換気症候群 ②睡眠時無呼吸症候群	担当講師	講義
8	終講試験	担当講師	—

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野 病理学　　疾病の成り立ち地回復の促進①　医学書院 系統看護学講座　専門基礎分野 病態生理学　疾病の成り立ち地回復の促進②　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験（100%）